

安心と希望の医療確保ビジョンについて

平成20年6月19日

日本病院薬剤師会

少子高齢化の進展や医療技術の高度化に伴い、我が国の医療環境は大きく変化してきています。また、医療費抑制政策など医療を取り巻く環境は大変厳しいものがあります。このような状況の中で国民の医療に対する安心を確保し、将来にわたり質の高い医療サービスを提供するため、「安心と希望の医療確保ビジョン」会議が設置され昨日ビジョンが取り纏められました。日本病院薬剤師会ではこの会議において、医療機関に勤務する薬剤師の役割がどのような方向で記載されるかについて大きな関心と期待をもって注目して参りました。

昨日取りまとめられたビジョンでは職種間の協働・チーム医療の充実の項で、医療機関に勤務する薬剤師がチーム医療の担い手として病棟等での薬剤管理や、医師・看護師と患者・家族の間に立った服薬指導業務の普及、医薬品の安全性確保と質の高い薬物療法への参画、チーム医療における協働を進めることなどが盛り込まれたことは高く評価したいと考えます。

日本病院薬剤師会では、チーム医療において薬剤師が一層貢献できるよう、また医薬品の適正使用の推進に向けてその知識と技術と職能を発揮し、国民が安心して適正な薬物療法が受けられるよう、資質の向上に努めるとともに、全国の病院・診療所に勤務する会員薬剤師とともに奮闘する所存であります。